

平成29年度行政事業レビューシート (総務省)

事業名	業務改革モデルプロジェクト			担当部局庁	自治行政局			作成責任者		
事業開始年度	平成28年度	事業終了(予定)年度	平成30年度	担当課室	行政経営支援室			室長 植田 昌也		
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	総務省設置法第4条			関係する計画、 通知等	経済財政運営と改革の基本方針2015, 2016 経済財政再生アクションプログラム、経済・財政再生計画改 革工程表					
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	「経済財政運営と改革の基本方針2015」(平成27年6月30日閣議決定)においては、「BPRの手法を活用した業務改革モデルプロジェクトの実施による 官民協力した優良事例の創出と全国展開、公共サービスイノベーションにおける優良事例の全国展開を加速する。」「窓口業務のアウトソーシングなど汎用 性のある先進的な改革に取り組む市町村数を2020年度(平成32年度)までに倍増させる。」と盛り込まれたところを踏まえ、他の自治体のモデルとなるような 取組を支援する。									
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	地方自治体において①住民サービスに直結する窓口業務②業務効率化に直結する庶務業務等の内部管理業務に焦点を当て、民間企業の協力のもとB PRの手法を活用しながらICT化・オープン化・アウトソーシングなどの業務改革を一体的に行い、住民の利便性向上につながるような取組をモデル的に実 施。モデル事業の実施を通じて改革の手法を確立し、その手法を横展開。									
実施方法	委託・請負									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の状 況	当初予算	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
		計	0	0	102	102	104			
	執行額	-	-	-	90.4	-				
	執行率 (%)	-	-	-	89%	-				
当初予算+補正予算に対す る執行額の割合 (%)	#DIV/0!		#DIV/0!	89%						
平成29・30年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由						
	諸謝金	0.4	0.4							
	職員旅費	0.5	1.8							
	委員等旅費	0.8	1.6							
	計	102	104							
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 年度	目標最終年度 30 年度
	2016年~18年度の各年度 において、「業務改革モデ ルプロジェクト」を6団体程 度実施	業務改革の手法として確立 し横展開を行った汎用性 のあるモデル事業数	成果実績	団体	-	-	7	-	-	
			目標値	団体	-	-	6	-	18	
		達成度	%	-	-	100	-	-		
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	成果については、平成29年3月30日付で「平成28年度業務改革モデルプロジェクト」成果報告書を公表。									
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込		
	モデル事業数	活動実績	団体	-	-	7	-	-		
当初見込み		団体	-	-	6	6	6			
単位当たり コスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込			
	執行額/モデル事業数	単位当たり コスト	団体	-	-	12.9	17			
		計算式	執行額/ モデル事業 数	-	-	90.4/7	101.8/6			

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策											政策3:分権型社会にふさわしい地方行政体制整備等										
	施策											民間委託等の業務改革に関する取組が進むこと										
	測定指標											定量的指標			/	単位	26年度	27年度	28年度	中間目標年度	目標年度	
	測定指標											実績値	市区町村	208	258	275	-	-				
	測定指標											目標値	市区町村	-	-	-	-	416				
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係																					
	モデル事業の実施を通じて改革の手法を確立し、その手法を横展開。窓口業務のアウトソーシングなど汎用性のある先進的な改革への市区町村の取組を促進。																					
	改革項目											分野:	制度・地方行財政		(3)地方行政分野における改革							
	KPI (第一階層)											/	単位	計画開始時26年度	28年度	29年度	中間目標年度	目標最終年度				
	KPI (第一階層)											成果実績	市区町村	208	275	-	-	-				
KPI (第一階層)											目標値	市区町村	-	-	-	-	416					
KPI (第一階層)											達成度	%	-	-	-	-	-					
KPI (第二階層)											/	単位	計画開始時年度	28年度	29年度	中間目標年度	目標最終年度					
KPI (第二階層)											成果実績	-	-	-	-	-	-					
KPI (第二階層)											目標値	-	-	-	-	-	-					
KPI (第二階層)											達成度	%	-	-	-	-	-					
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係																						
-																						

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	「経済財政運営と改革の基本方針2015」(平成27年6月30日閣議決定)に本事業が盛り込まれたこと、窓口業務のアウトソーシングなど汎用性のある先進的な改革への市町村数を2020年度(平成32年度)までに倍増させることが盛り込まれたことを踏まえ、政府として本事業を実施する必要がある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	同上	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	同上	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	地方公共団体に提案を募集の上、選定	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無		
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	当初予定の範囲内	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	モデル構築に必要な経費	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-			
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-			
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	構築されたモデルの報告書をHPで公開	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	当初予定通り	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	構築されたモデルの報告書をHPで公開、説明会等で説明	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-		
	所管府省名	事業番号		事業名
点検・改善結果	点検結果	効率的な支出に努めるとともに、構築したモデルの横展開を図ることで事業の有用性を高めている。		
	改善の方向性	今後とも、コスト削減に努めてゆく。		

外部有識者の所見

モデルの全国展開の実績がわかる成果指標の検討が求められる。

行政事業レビュー推進チームの所見

一部
の
改善
内容

更なる経費の効率化を図り、適正な予算執行に努めること。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

執行
等
改善
改

点検結果に基づき、適正な予算執行に努める。今後も、骨太の方針に掲げられた成果指標の達成に向けて取り組んでいく。

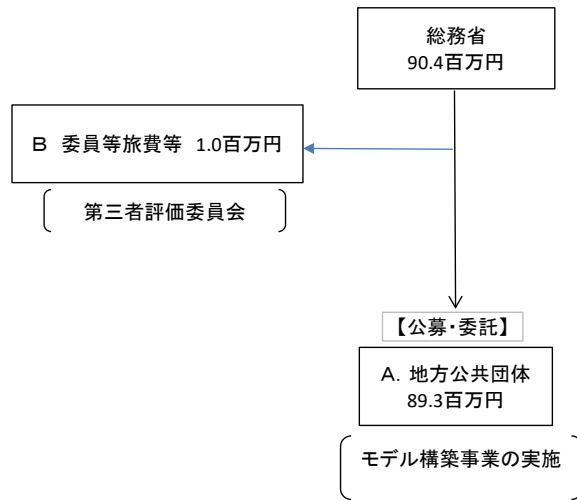
備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	—	平成23年度	—	平成24年度	—
平成25年度	—	平成26年度	—	平成27年度	—
平成28年度	新28-0001				

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位: 百万円)



費目・使途
(「資金の流れ」に
おいてブロックご
とに最大の金額
が支出されている
者について記載
する。費目と使途
の双方で実情が
分かるように記
載)

A.			B.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
庁費	業務改革モデルプロジェクト委託費	89.3	委員等旅費	報告会旅費等	1
計		89.3	計		1

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

